

令和5年度宮城県特定家畜伝染病対策 栗原現地地域部防疫演習について

特定家畜伝染病が発生した際は、関係者が一丸となって迅速な防疫措置を行う必要があり、初動防疫が極めて重要です。特に、高病原性鳥インフルエンザについては、昨シーズンの国内発生が過去最速となる令和4年10月28日に確認され、以降、26道県84事例、殺処分の対象が約1,771万羽と最大規模となっており、世界的な発生状況からみても、昨シーズン同様、今冬も発生リスクが高いとされています。このことから、本演習では高病原性鳥インフルエンザの発生を想定し、防疫措置において重要な役割を担う支援センターの設営及び運営訓練を実施し、改めて関係者における初動防疫体制の確認を行うものです。

記

- 1 日時 令和5年10月13日(金) 午前9時から午後4時まで ※雨天決行
- 2 場所 宮城県栗原合同庁舎（栗原市築館藤木5番1号）
- 3 主催 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（栗原現地地域部）
- 4 共催 一般社団法人宮城県畜産協会、一般社団法人宮城県建設業協会栗原支部
- 5 訓練概要及びスケジュール（予定）

時間	項目	概要
9:00～9:20	午前開会	開会、挨拶、演習概要説明
9:20～12:00	午前訓練	支援センター設営訓練(宮城県栗原合同庁舎)
12:00～13:00	昼食	
13:00～13:20	午後開会	開会、演習概要説明
13:20～15:45	午後訓練	支援センター運営訓練(宮城県栗原合同庁舎) (1) 従事者出発前訓練 受付、健康調査、防疫服着衣 等 (2) 従事者帰還後訓練 防疫服脱衣、受付、健康調査 等
15:45～16:00	閉会	講評、閉会

- 6 参集範囲 栗原現地地域部構成員及び関係団体・機関等